

基礎医学 (2) / 病理学・病理学実習

3年(前期, 後期)

泉啓介・教授 / 医学科 生体防御腫瘍医学講座 環境病理学分野

【授業目的】病理学総論 general pathology では細胞障害, 腫瘍, 老化といった基本的病変の原因 etiology や発生機構 pathogenesis, 形態学的変化 morphologic changes を学ぶ。臓器病理学 systemic pathology では, 臓器別に様々な病気についてその原因, 発生機構, 形態学的変化, 診断方法などを学ぶ。

【授業概要】病理学総論の講義と実習, 臓器病理学の講義と実習から成る。講義では病理解剖の役割, 病理医 pathologist の役割, 病気の原因究明のために用いている疾患モデル動物の役割にも触れる。実習では臓器の肉眼観察と顕微鏡観察を行う。

【授業方法】講義:プリント, スライド, 実習:肉眼および組織標本の観察・スケッチ, 病理解剖見学(病理解剖室):白衣を用意する

【関連科目】『基礎医学 (2)/病理学・病理学実習』(0.5)

【到達目標】

1. 腫瘍の原因, 分子機構, 形態学的多様性, がん予防について説明できる。
2. 細胞障害と再生の分子機構, 形態学的所見を説明できる。
3. 老化の分子機構, 早老症について説明できる。
4. 小児疾患の染色体異常, 特徴を説明できる。
5. 消化器, 呼吸器, 循環器, 泌尿器・生殖器の病気について原因, 分子機構, 形態学的変化を説明できる。

【授業計画】

	大項目	中項目	内容	担当
1.	病理学総論	概論・病理解剖		泉
2.	〃	細胞障害	細胞障害機構, 細胞の適応	上原
3.	〃	再生・創傷治癒	細胞周期, 創傷治癒機構	〃
4.	〃	腫瘍	原因・疫学, 形態学, 発がん機構	泉
5.	〃	小児・老化		坂東, 泉
6.	臓器病理学	消化器	食道, 胃, 小・大腸, 肝・胆・膵	〃
7.	〃	呼吸器	鼻腔, 肺	上原
8.	〃	循環器	心臓, 血管	〃
9.	〃	泌尿器	腎臓, 膀胱	泉
10.	〃	男性・女性生殖器	精巣, 前立腺, 卵巣, 子宮	泉, 坂東

【成績評価】1. 筆記試験, 2. 実習レポート

【教科書】

- ◇ 指定はしないが, 以下の教科書・アトラスがよい。病理学の授業で初めてヒトの様々な疾患の概念について学ぶことになるので, 定評がある教科書を購入することが望ましい。
- ◇ 1. 解明病理学(医歯薬出版), 2. Robbins Basic Pathology(Saunders), 3. Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease(Elsevier-Saunders), 4. 標準病理学(医学書院), 5. 組織病理アトラス(文光堂)

【WEB 頁】<http://150.59.224.157/pathology/>

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217858>

【連絡先】

- ⇒ 泉 (088-633-7065, izumi@basic.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 指定しない)
- ⇒ 上原 (088-633-7066, uehara@basic.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL
- ⇒ 坂東 (088-633-7066, yoshimi@basic.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL